

不様29 (表)

事件番号 宮崎労委

年(不)第 号

事件名

不当労働行為救済申立事件

年 月 日

宮崎県労働委員会

審査委員長 殿

名称

提出者

代表者職氏名

証 拠 説 明 書

証拠 番号	証 拠 名	原本・写しの別	立 証 趣 旨	備 考
	作 成 者 名	作成年月日		

裏面の【記入上の注意】を読んでください。

不様29（裏）

【記入上の注意】

- 1 証拠番号  
申立人提出の証拠は、「甲第 号証」、被申立人提出の証拠は、「乙第 号証」とし、それぞれ通し番号を付けてください。
- 2 証拠名  
同一内容のものが二つ以上ある場合には、それぞれ区別できるようにしてください。
- 3 原本・写しの別  
証拠が原本か、その写しかの別を記入してください。
- 4 作成者  
証拠の原本の作成者を機関名、職種、氏名の順で記入してください。
- 5 作成年月日  
証拠の成立年月日を記入してください。分からないときは、「不詳」と記入してください。
- 6 立証趣旨  
申立書、答弁書、準備書面のどの部分を立証しようとするのか摘示した上で、その証拠をもって何をどのように立証しようとするのか具体的に記入してください。
- 7 備考  
参考となるべき特記事項があれば記入してください。
- 8 その他  
記入欄が不足する場合は、継紙に記入して添付してください。

